

第6回雪山入門

特に2日目は、実際にビーコンを装着したり、スノーシューですずっと進み、登りの先頭も少し体験させていただくなど、初めて体験することも多く勉強になりました。

運営委員の方々には、雪山用の道具のご用意など、本当にありがとうございました。

雪山は注意点や景色、ギア、登山方法など普通の山との違いが多く、とても為になりました。

(雪山体験、歩行技術)基礎的な技術、基礎知識登山学校に入校して講座内容を拝見した時、一番のハードルは未知なる世界の雪山でした。

1日目の講座ではピッケルの構え方、持ち方、アイゼン歩行(まっすぐ登る下る、斜め登る下る)トラバース、滑落停止の練習ラッセル、つぼ足、キックステップ、わかん、スノーシューを体験。キックステップは1回目はコツが掴めませんでした。2、3回と繰り返すことに上手く下りられるようになりましたがイメージトレーニングもして更に安全に下りることができるようにしたいです。わかんでは装着が上手くいかず度々外れることがありました。実際のわかんの効力がうまく発揮できなかったのではと残念な思いでした。スノーシューを初めて装着。

想像より長く重い感じでしたがクロスカントリーのイメージでいっぱい歩くことができました。

緩傾斜では登り下りにもコツがあり道具を正しく使うことの難しさも感じました。ビーコンの扱い方も教わりました。搜索は意外に難しかったです。ビーコンのお世話にならないよう気を引き締めていきたいです。

2日目は一ノ倉沢出合いを目指して湯桧曾川沿いトレッキングでした。出発前にアイゼンを装着したほうが良いのか判断に迷いその有無を尋ねましたがそれは愚問でした。今日の行程を予習しておけばどのようなタイミングでアイゼンを着けるのが良いのか自分で判断、考えることが大事だと思ったからです。それにハッと気づいたので明確な答えをもらえなくて良かったと思いました。湯桧曾川トレッキング、川を横切り対岸に渡る時にアイゼン装着のまま石の上をバランス良く歩くのが難しかったけれど、雪山に対する自分の引き出しが増えてうれしかったです。つづら折りに斜面を登りあと少しで開けた場所に向かう途中、右足がズボリとはまりました。右側は斜面で左側は山側、幅40cm位の狭い場所で左足で立ち上るまでヒヤリと怖い思いをしました。登山は危険と隣り合わせだと身を持って感じた出来事でした。

運営委員の皆様のご尽力のもとに机上講座と実技講座の全日程が無事に終了することができました。とても大きな一年になり、感謝の気持ちで一杯です。

登山学校で学び得た知識や技術を更に深め、それらを活かせるように考え、振り返って、安全で楽しく登山を積み重ねられるように、これからも努力していきたいです。一年間、ご指導頂きましてありがとうございました。心からお礼を申し上げます。

昨日、今日とお世話になりました。

雪山講座が終了した今、身体中のあちこちが筋肉痛で、雪の中でだいぶ体が健闘していたようでした。でもまさかお汁粉が食べれるなんて…

寒いのは苦手でしたが今回は雪を楽しむ大きな発見がありました。登山学校最後の授業でしたが、ラストにふさわしい楽しい授業となりました。ありがとうございました。

お疲れ様です。今回の講義の感想をお送りします。1日目はスノーシュー、わかんなどの体験をしました。これらは初めて使うものだったので、とても楽しくためになりました。2日目は雪山をスノーシューで道を作りながら上りました。柔らかい雪などの箇所は踏み込むとズルっと足が雪に沈み込んでしまい上に進めなくなってしまいました。雪山の厳しさを学ぶことができました。雪道を歩くことなど、なかなか面白いのだなということが分かり、とても良い経験となりました。ありがとうございました。